



～ 志をもち 郷土を誇りに思い 郷土の誇りとなる ～
「自己有用感(人、社会の役に立つ)」「自己肯定感(やればできる)」の高揚

五島市中総体駅伝競走大会に向けて

8月から始まった駅伝練習。参加者には”体力をつける””選手として走り、よい記録を出したい””昨年度の悔しさを晴らしたい”等々の思いがあります。年々暑さが厳しくなる中、1年生も多く参加し、練習から一生懸命に頑張っている姿は美しいものがあります。10月1日(水)の五島市中総体駅伝競走大会に向けて、チームとして頑張っています。



避難訓練(9/18)

2001年、大阪の小学校で校舎に不審者が入り、多くの児童が殺傷されるという事件がありました。それから、全国の学校では不審者対応の避難訓練が実施されています。

5月の大型連休明けに、東京都の立川市の小学校で外部から2名が侵入した事件は記憶に新しいところです。このとき、児童には直接的な被害(ケガなど)はありませんでした。後の報道によれば、訓練が生きた成果だったと言われています。

三井楽中学校は、保護者や地域の皆様との信頼関係ができていますと確信していますが、外部からの侵入においては予測することができません。子どもたちには、いざという時のことを常に想定しておき、命を守るための行動をとるように指導しています。命ほど大切なものはありません。訓練が訓練で終わらないよう、常に意識付けしていきます。

高校説明会(9/9)

五島高校全日制、定時制、五島海陽高校、五島南高校から来ていただき、各校の特色等を説明していただきました。子どもたちはそれぞれの学校に特色があり、また厳しさがあることも分かったようです。特に3年生は、卒業後の進路選択の大きな参考となったのではないのでしょうか。

情報

現在小中学校も含め、無償で端末(タブレット)が提供されています。しかし、「**県立高校では、2026年度入学生からは私有の端末を学校に持参してもらう方式を導入したい**」と、9月16日(火)の県議会一般質問において、県教育長が回答しています(あくまで県立高校です)。

9月17日(水)の長崎新聞に記載されていますので、ご確認ください。



校長のひとり言

9月4日(木)～5日(金)の2日間、本校を卒業した高校2年生がインターンシップ事業でやってきました。初日の朝、緊張の面持ちで職員を前に「私は、学校の先生になりたいです。」という言葉がありました。2日間を終えて、改めて職員室でお礼のあいさつをした中で「私は、**絶対に**学校の先生になりたいです。」と言葉が力強くなり、思わず心が震えてしまいました。

先生になりたいと思ってくれたことも嬉しかったのですが、私が感動したのは、「夢や憧れが志へ」と高まっていったと感じたからです。学校教育目標に「志をもち」と入れています。在校生には、自らの目標を立て、目的をもって生きていこうとする力を少しでも身に付けた三井楽中学校の生徒になってほしいと願っています。